報告事項 No. 2 - ①

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回守谷市保健福祉審議会障がい者福祉分科会
開催日時	令和5年4月24日（月） 開会：10時00分 閉会：12時00分
開催場所	守谷市中央図書館 視聴覚室
所管課	健幸福祉部 社会福祉課
出席者	委員 小田会長、椿委員、新田委員、清水委員、中山委員、飯村委員 計6名
	事務局 羽田課長、松井課長補佐、横山係長、新田主事 株式会社名豊 大川氏 計5名

審 議 経 過

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 守谷市障がい者福祉計画等策定のためのアンケート調査結果報告書について

・令和4年度に実施した障がい者福祉計画等策定のためのアンケートの結果報告を行った。

【主な意見等】

(委員) 今回、インターネット回答を実施したが回答率に影響したか。

(事務局) インターネット回答の件数は全体で346件。年代については若い方が回答いただいている。一定の成果が得られているのかなと思っている。

(委員) 回収率が31.1%として、守谷市の調査としては、かなり低いと感じた。新規の質問が増え、かなり回答者として負担があったと思う。

(事務局) 今回ボリュームが多かったというところもあり、その辺はちょっと負担が大きかったのは確かに否めないと思う。

(委員) 自由記述は今後まとめられるのか。その中にも結構色々な意見があって、そういうのも計画に反映すべきだと思う。

(事務局) 自由記述については後日お示しさせていただければと考えている。

(委員)回答者は大体40歳以上の年齢の高い方々ということだが、対象が配布数4,000通ということで、対象となっている方々に対しての実際の年齢の分布というのはどんな感じか。

(事務局)基本的には手帳をお持ちの方、サービスを利用している方、受給者証をお持ちの方が対象だが、その中で数的に多いのは身体障がい者の方。そうなってくると、中高年層以上、特に65歳以上が多くなってくるのでそうした傾向も多いと思う。

(委員)アンケートから読み取れるところとして、啓発と教育のところがこれからの重要な課題になると思う。

(委員)就労というところで、実際にハローワークでの就労がどこまで叶えられているのか。

(事務局)障がいを持つ前に就職していてその時にハローワークを使ったのか、手帳を持ってからハローワークを使ったのかについては特定が難しい。

(委員)ポリテクセンターが県内では唯一常総市にある。ここも障がい者、高齢者を対象に就労のための教育を受けられるので、そういうものをうまく障がい者の方にもPRできればと思う。

(委員)選択肢が増えることがご本人たちのメリットにも繋がる場所だと思う。そのためには、事業者に対する教育というのは、「ここは文部科学省」とか関係なく福祉課の方とかでも色々取り組めるところかと思う。

(2) 今後のスケジュールについて

(事務局)

- ・今回いただいた意見を踏まえアンケート報告書を修正する。
- ・5月から地域自立支援協議会や事業所、関係団体等にも意見を伺っていく。
- ・7月から8月にかけて素案を作成し、9月に分科会で意見を伺い、意見を踏まえて修正した素案について10月に再度分科会を開催し示した上で、同月の保健福祉審議会で提示させていただく。
- ・その後、パブリックコメント等を経て最終案を固め、年度内に計画を決定する予定。

4 閉 会